

札幌市教育推進の目標

未来を切り拓く 人間性豊かで 創造性あふれる 自立した札幌人

- 自らの夢や希望に向かって
ねばり強く挑戦し、努力する
たくましい心身をはぐくむ
- 自他ともに尊重し
ともに支え合う
思いやりのある心をはぐくむ
- ふるさと札幌に根ざし
国際社会で活躍する
豊かな創造力をはぐくむ

札幌の礎を築いた先人たちの心を継承し、未来に向かってねばり強くたくましく挑戦し続けることを通して、ふるさとである札幌を誇りとし、お互いの立場と人権を尊重し合い、豊かな創造力を発揮しながら、世界を舞台に堂々と活躍できる自立した札幌人を目指します。その取組は、現在札幌市が目指している「創造都市さっぽろ」の実現にもつながるものです。

札幌市教育推進の指針

- 遊びを通して、人や自然と豊かにかかわり、自立と協定の基礎を培う幼児教育を推進します
- 確かな学力と豊かな心、健やかな身体を家庭や地域とともにはぐくむ義務教育を推進します
- 進路を見据え、個性を伸ばし、豊かな人間性をはぐくむ高等学校教育を推進します
- 一人一人に応じながら、地域で、ともにはぐくむ特別支援教育を推進します
- 子どもから高齢者まで、市民一人一人の学びや活動を支援し、その成果を活かす生涯学習を推進します

「札幌市教育推進の目標」を実現するために、学校教育及び生涯学習の視点から、推進すべき方向性を五つの指針として定めたものです。

札幌市学校教育の重点

学校教育の四つの柱

- 学ぶ力の育成
- 豊かな心の育成
- 健やかな身体の育成
- 信頼される学校の創造

この『四つの柱』は、「札幌市教育推進計画」の改革プログラムの中で示している、『まなび【知】の充実』『こころ【徳】の充実』『からだ【体】の充実』『新たな教育システム』の趣旨を踏まえ策定したもので、各学校において、中長期的視点に立って、重点を置いて取り組むべき内容を、四つの柱として示したものです。

札幌らしい特色ある学校教育

各学校が共通に取り組む

- 北国札幌らしさを学ぶ 【雪】
- 未来の札幌を見つめる 【環境】
- 生涯にわたる学びの基盤 【読書】

三つのテーマは、ふるさと札幌に立脚して、学ぶ力や豊かな心、健やかな身体など「生きる力」を育み「自立した札幌人」の育成を目指すために、全ての学校が共通に取り組むテーマとして位置付けているものです。

【雪】と【環境】は、札幌の自然環境や人的・文化的な環境など、札幌の特色を十分活かし、札幌のまちへの主体的な関わりを通じた体験や学習活動の充実を図るためのテーマです。

【読書】は、子どもの将来を見据え、生涯にわたる学びの基盤を培うために、札幌市として、より重点を置く学習活動のテーマです。

学校教育の今日的課題

- 人間尊重の教育
- 特別支援教育
- 国際理解教育
- 情報教育

ここに示すものは、社会の変化を踏まえた、現代の教育的ニーズを反映した課題を「学校教育の今日的な課題」として表したものです。

これらのうち、「国際理解教育」「情報教育」については、これまでも「総合的な学習の時間」における横断的・総合的な課題として例示され、教科の枠の中だけで解決を図ることは難しい課題と言えます。

また、「人間尊重の教育」「特別支援教育」については、従前から取り組まれてきている普遍的な課題ですが、近年、特にクローズアップされてきている状況を鑑み、今日的課題として位置付けたものです。

第2次札幌市生涯学習推進構想 ～さっぽろで 学ぶ・活かす・つなぐ～

基本施策Ⅰ「いきいきと学ぶ」

- 主体的に社会にかかわるとともに、感性豊かで伸びやかな札幌人をはぐくむため、市民の学びを多角的に支援

基本施策Ⅱ「成果を活かす」

- 学びの成果を社会貢献活動や地域に活かすとともに、札幌を支える人づくり、活力ある札幌のまちづくりに活用

基本施策Ⅲ「学びをつなぐ」

- 地域に密着しつつ、高度なニーズにも対応した継続的な学びと実践の仕組みづくりの推進